順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

2　内　容

〔第５学年及び第６学年〕

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して，次に示す言語材料のうち，１に示す五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに，言語材料と言語活動とを効果的に関連付け，実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。

ア　音声

次に示す事項のうち基本的な語や句，文について取り扱うこと。

(ｱ) 現代の標準的な発音

(ｲ) 語と語の連結による音の変化

(ｳ) 語や句，文における基本的な強勢

(ｴ) 文における基本的なイントネーション

(ｵ) 文における基本的な区切り

イ　文字及び符号

(ｱ) 活字体の大文字，小文字

(ｲ) 終止符や疑問符，コンマなどの基本的な符号

ウ　語，連語及び慣用表現

(ｱ) １に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる，第３学年及び第４学年において第４章外国語活動を履修する際に取り扱った語を含む600～700語程度の語

(ｲ) 連語のうち，get up，look atなどの活用頻度の高い基本的なもの

(ｳ) 慣用表現のうち，excuse me，I see，I'm sorry，thank you，you're welcomeなどの活用頻度の高い基本的なもの

エ　文及び文構造

次に示す事項について，日本語と英語の語順の違い等に気付かせるとともに，基本的な表現として，意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。

(ｱ) 文

a　単文

b　肯定，否定の平叙文

c　肯定，否定の命令文

d　疑問文のうち，be動詞で始まるものや助動詞（can，doなど）で始まるもの，疑問詞（who，what，when，where，why，how）で始まるもの

e　代名詞のうち，I，you，he，sheなどの基本的なものを含むもの

f　動名詞や過去形のうち，活用頻度の高い基本的なものを含むもの

(ｲ) 文構造

a　［主語＋動詞］

b　［主語＋動詞＋補語］のうち，

主語＋be動詞＋｛名詞／代名詞／形容詞｝

c　［主語＋動詞＋目的語］のうち，

主語＋動詞＋｛名詞／代名詞｝

〔思考力，判断力，表現力等〕

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項